

セコム株式会社における デザインとその保護の取り組み

セコム株式会社 知的財産部 主任 齋藤建彰

技術開発本部 開発センター デザイングループ リーダー 田中義久

1 セコムについて

セコムは、1962年に日本初の警備保障会社として創業し、1966年には日本初の企業向けのオンライン・セキュリティシステムを開発しました。

オンライン・セキュリティシステムの仕組みは、契約先に設置したセンサーなどのセキュリティ機器を通信回線でセコムのコントロールセンターとつなぎ、24時間365日、コントロールセンターの管制員が監視します。契約先から侵入や火災などの異常信号を受信すると、管制員が緊急発進拠点で待機している緊急対処員に急行を指示し、必要に応じて警察や消防に通報します。

1981年には、わが国初のホームセキュリティシステムを発売し、家庭市場を開拓。現在は、国内合計約249万9,000件（企業で約107万6,000件、家庭で約142万3,000件）、海外約94万3,000件の契約先を有しています（2020年9月末現在）。

セコム及びセコムグループは、現在、セキュリティサービスのほか、防災、メディカルサービス、保険、地理空間情報サービス、BPO・ICT事業を展開しています。

また、海外17の国と地域で事業を展開。台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、インド、トルコ、イギリス、スウェーデン、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカに進出しています。

セコムは、「あらゆる不安のない社会の実現」を

使命とし、いつでも、どこでも、誰もが「安全・安心・快適・便利」に暮らせるサービスやシステムを創造し、それらを統合・融合して社会になくてはならない新しいシステムを提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

2017年5月には、この「社会システム産業」の構築を一層加速するため、「セコムグループ2030年ビジョン」を策定しました。このビジョンのもと、暮らしや社会に安心を提供する社会インフラ「あんしんプラットフォーム」を通じて、さまざまな社会課題を解決することで、社会とともに持続的な成長に向かって歩んでいます。

2 当社のデザインとその保護の取り組み

「社会システム産業」の構築に必要なとされる、新しいシステムを構成する機器には今までにないモノをどうデザインするか、今までにあるモノでも新しいサービス向けにどのようにデザインするかというところにポイントがあります。

デザインの考え方としては、技術をアピールしないシンプルな機能表現が「安心のカタチ」であると捉え、個人向けの小型機器から、家庭向けの操作機器、センサー、監視カメラ、警備ロボット、大型の飛行船に至るまで、それぞれの目的にあわせて具現化することを心がけています。また、一人でも多くの人にとって魅力的で使いやすくなるように審美性と操作性の両立を図ったデザインを行っています。

1) 「21世紀のお守り」をイメージした個人向けセキュリティ端末「ココセコム」

「ココセコム」は2001年にサービスを開始した日